

## 世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2022 - コロナ禍における新たな取り組み 2

（2016～2022年度大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業）

梅澤ホームゼミナール

山口紗恵子（4年）、岩田柚菜、大谷彩花、陸彩菜、近藤海優、齋藤純白、徳永賢人、中村優貴、西野伸（3年）、雨宮永大、上江洲安輝、大串慶斗、近藤直希、小嶋侖、清水寛太、鈴木達也、田邊心、徳常生吹、西田凌馬、堀勇斗（2年）

### はじめに

本プロジェクト（以下、PJ）は、学生と八王子市高齢者あんしん相談センター旭町（以下、センター）、八王子市民生委員・児童委員協議会第4地区民生委員（以下、民生委員）・協力員、有志、八王子市高齢者いきいき課が連携して「駅前」という特徴を活かした高齢者サロン（以下、サロン）の運営を行うものである。私たちは2016年より4年間にわたり36回のサロンを運営してきたが、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）により、2020年1月からサロンを休止した。この間、オンラインサロンの仕組みづくり等を行ってきたが、今回はコロナ禍が長引く中で再開したサロンや新たな取り組みと成果を報告する。

### 1. 「駅前サロン通信」

2020年1月、COVID-19により対面サロンが休止となる中で、高齢者との繋がりを保つことを目的として「駅前サロン通信」の発行を開始した。通信は3年間継続し、2023年1月号が第32号となる。



#### （1）2022年度の通信の工夫、

##### 新規事業QRコードによる動画配信

今年度の表紙は外出が儘ならず、食が細くなりがちな高齢者の皆様に季節の食材と料理、行事を届けたいと考え編集を行ってきた。日付感覚を持って頂けるように表紙下部には「今日は何の日？」を掲載しているが、サロンが再開したため、サロン開催日を記載することにした。2頁目はゼミ生の近況報告と高齢者へのメッセージを記載している。

対面で交流することが出来ない方々に私たちを知って頂く為に、また、最近ではTV等でも使われるようになったQRコードに慣れて頂く為に、今年度はQRコードを用いて「学生

紹介」、「学内紹介」の動画配信を開始した。3頁目は連携団体の皆様に原稿を頂いているが、今年度は他大学の地域活動紹介も掲載した。4頁目には学生オリジナルの脳トレ（クイズ）も掲載を始めた。

### （2）他大学との連携

大学コンソーシアム八王子事務局の仲介により、今年度の「学生企画事業補助金」採択式で山野美容芸術短期大学（以下、山短）の学生とのつながりが生まれ、山短の学生が取り組んでいる地域活動の成果を「駅前サロン通信」11・12月号で紹介した。

### 2. 駅前サロン（高齢者サロン）の再開、新たな取り組み

2021年秋からCOVID-19の感染状況をみながら不定期に開催していたサロンであったが、ワクチン接種も進んだことから、6月からは定期開催に戻した。しかしながら対象者が高齢であることから、6月の第39回は、大学と八王子の会場をオンラインで繋ぐオンラインサロンとした。第40回（7月）からは広い会場を探して場所を移し対面でサロンを開催している。現在、第46回サロンの準備を進めている。

#### （1）事業内容

##### ア. オンラインサロンの仕組みづくりの完成

オンラインサロンを実施していく中で、カメラへの視線、表情、声のボリューム、活舌や読むスピード、全体のスムーズな運営等々多くの課題がみつかり改善した。オンラインは交流に重点を置いていたので、サロン会場と大学のタイムラグを考慮し、スムーズに交流できるような話しのやりとりのタイミングに気を付けた。このような細かな工夫、連携団体の皆様から出された要望や指摘は次回までに必ず改善していくことで、内容がブラッシュアップされていき、連携団体の皆様から高い評価を頂けるようにまで仕上げることが出来た。

##### イ. 対面サロンの新たな取り組み

COVID-19対策として第40回からは2倍の広さの会場に移した。大型スクリーンやマイクが設置されているため、企

画内容も幅が広がった。参加者数を制限する必要もなくなり、ゼミ生も5・6名が交流や運営にあたるようになった。「駅前サロン通信」QRコードの動画を大きなスクリーンで再度観て、学生と会話しながら楽しむことやゼミ生が企画するゲームや体操で頭も体を大きく動かしながら挑戦してもらえるようになり、参加者、連携団体の皆さんには大好評である。

### 3. まとめ - 活動成果と次年度の企画案等

#### (1) 「駅前サロン通信」の活動成果

今年度の取り組み、QRコードによる動画配信はYoutubeを観ているよう、「学生さんの様子や学生生活が観れて嬉しい。」というお言葉を頂き、高齢者、連携団体、大学コンソーシアム八王子の皆様から高い評価を頂いている。

#### (2) 駅前サロン（高齢者サロン）の活動成果

対面によるサロンは、6つ成果を生むことができた。

① 会場の広さが以前の2倍になったこと、そのため②参加者数を制限する必要がなくなったこと、③大型スクリーンやマイクが設置されているため、音や声を届けやすくなったこと、④企画する内容も幅を広げられたこと、⑤学生も5～6名参加出来るようになり交流が賑やかになり、しっかりと運営にあたるようになったこと、⑥学生が多く参加できるようになったことで、スマートフォンの使い方など高齢者のお困りごとに柔軟に対応できるようになったことである。

連携団体の皆様からは「設営から運営、交流ほぼすべてを任せることが出来ている。」「当初、学生がサロンの目標に掲げていた、参加者がたくさん話しをすることが出来る“ゆったりサロン”が実現できている。」とお言葉を頂いている。

#### (3) 次年度の活動計画案

今までは郵送していた「駅前サロン通信」を参加者の皆様には直接手渡すことにした。そのためには編集作業を前倒しにしなければならない。また、参加者の皆様にも通信に書いて頂くことを検討している。そのことによって学生と連携団体だけでなく、参加者も含めた全員参加型の紙面づくりができ、つながりがより深くなると考える。

これまで出来ていなかった活動、八王子や多摩の高齢者サロンがコロナ禍でどのような状況になっているか、その現状と課題を調査したいと考えている。

### 謝辞

長年にわたり本プロジェクトにご支援、ご協力頂いております八王子市高齢者あんしん相談センター旭町、八王子市民生委員・児童委員協議会第4地区民生委員・協力員、有志、大学コンソーシアム八王子、八王子市高齢者いきいき課の皆様にご心よりお礼申し上げます。